

## 赤潮・貧酸素情報（２）

平成２６年４月１６日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

４月１６日に豊前海区沿岸において有害プランクトン調査と貧酸素調査を行った結果、調査した場所のほぼ全てで有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が認められました。

### < 有害プランクトンの状況 >

- 恒見漁港内でカレニア・ミキモトイの増殖（底層で海水1ml中に174細胞）が認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数千～1万細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に5m層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。

### < 貧酸素の状況 >

- 貧酸素は発生していませんでした。
- なお、酸素濃度は、およそ30%以下で魚介類に影響を及ぼし、10%以下でへい死する恐れがあります。

### < 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- 4月から本種の増殖が確認されることはまれであり、魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、大形）までご連絡下さい。

4月16日調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	酸素濃度 (%)	水温 (°C)	塩分 (psu)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	0	108.5	14.3	32.30	26
		B-1	106.3	13.9	32.54	43
②	恒見漁港	0	105.1	14.1	31.53	7
		B-1	100.1	13.9	32.22	174
③	松山漁港	0	104.4	15.1	31.07	16
		B-1	98.5	14.7	31.59	3
④	苅田本港	0	105.1	16.0	31.79	15
		B-1	102.3	14.6	32.02	39
⑤	苅田南港	0	110.1	14.7	30.36	6
		5	103.6	14.3	31.93	9
		B-1	92.4	14.0	32.05	28
⑥	蓑島漁港	0	100.5	14.7	30.87	6
		B-1	98	14.7	29.44	0
⑦	宇島漁港	0	113.4	15.7	31.64	6
		B-1	107.7	14.3	31.94	2
⑧	吉富漁港	0	104.4	16.1	28.85	0
		B-1	97.5	15.9	30.34	0
⑨	苅田沖 (やぐら周辺)	0	115.2	14.9	31.90	5
		5	110.3	13.3	32.44	1
		B-1	105.3	13.1	32.47	0

